



地域日本語支援ニュース こだま 第 262 号

2014.9.25



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■防災の日によせて■

防災支援お役立ちサイト情報

2■お知らせ■

進学進路ガイダンス情報

高校進学説明会情報(9月・10月)*更新情報のみ掲載しています

=====

1■防災の日によせて■

防災支援お役立ちサイト情報

9月1日は防災の日でした。これはこの日が関東大震災発生日であるとともに、台風シーズンでもあることから創設されたそうです。東日本大震災以降、防災・減災への必要性はますます高まり、全国で多くの取り組みがされています。今号は、日本に住む外国人にとっても日本人にとっても、関心は高いもののなかなか手が回らない防災について、編集部が目で見たい、防災支援に役立つサイトを集めてみました。

☆☆☆☆☆☆

◆多言語◆

緊急時に自国の言語で情報が分かるほど、心強いことはないでしょう。言語の多様性も広がっています。多言語情報サイトを活用して、在住外国人の方とともに防災意識を高めることができます。

○岩手県

防災多言語パンフレット「災害から身を守るために」では、災害が起きた時に

どのように行動し、どのように自分の身を守ればよいか、実際の行動にすぐに役立つ情報が、日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語の 6 言語で書かれています。

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kokusai/tabunka/1033497/1033500.html>

○財団法人自治体国際化協会（CLAIR）

東日本大震災直後から提供されてきた外国人住民災害支援情報を引き継いで更新され、さらに多言語による文例集も加わりました。英語、中国語など主要言語の他、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語の 9 言語で、災害の基礎知識ばかりでなく、保証金や見舞金、子育て災害時の健康管理について説明するときなどに役立ちます。

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/index.html>

○公益財団法人滋賀県国際協会

多言語防災情報の中で、8 言語による地震対策の他、多言語備品カードを使って非常時持出袋をつくろう、という活動を紹介しています。外国人の方と一緒に作業しながら、楽しく活動できそうです。

<https://www.s-i-a.or.jp/hijyou/index.html>

○多文化共生センターひょうご

神戸市の救急車全車に配備しているという、患者と意思疎通をはかるための指さし式の対訳集があります。英語など主要言語の他にアラビア語やルーマニア語、ネパール語なども加わった 20 言語で、症状などの情報収集シートと医療用語集で構成されています。

<https://www.tabunka.jp/hyogo/119/index.html>

○公益財団法人仙台国際交流協会

12 言語による多言語防災ビデオ「地震！その時どうする？」(第2版)が YouTube にアップロードされています。

<http://int.sentia-sendai.jp/blog/j/j-1650/>

○総務省消防庁 こども防災 e-ランド

動画で楽しく防災について学べます。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/you-syou.html>

以下の言語の動画でも学べます。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/english/>
<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/chinese/>
<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/korean/>
<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/portuguese/>

○リンク集

公益財団法人福島県国際交流協会 防災情報お役立ちリンク

<https://www.worldvillage.org/life/prepare/occur.html>

公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE) 災害に備えるための資料・リンク集

<https://www.yokeweb.com/saigai/>

☆☆☆☆☆☆☆☆

◆「やさしい日本語」◆

多言語によりカバーされない母国語をもつ外国人や、日ごろの日本語支援に防災を取り入れたい支援者の方々には「やさしい日本語」での情報が役立ちます。

○弘前大学人文学部 社会言語学研究室

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ100go-top.html>

1995年の阪神淡路大震災を期に、外国人への災害情報を「やさしい日本語」で呼びかけようという研究がなされています。弘前大学の佐藤和之先生によると、「やさしい日本語」とは‘日本語で友人と待ち合わせたり、自分の欲しいものを説明したりすることができる外国人なら十分に理解できるレベル’の日本語で、語彙数は約二千語ということです（光村図書中学2年国語教科書・国語2「やさしい日本語」より）。

その中で、「外国人用地震災害基礎語100」をもとに、*日本語能力試験3, 4級学習者にも対応した形で、「やさしい日本語版災害基礎語彙100」がつくられています。

*日本語能力試験3級は、基本的な文法・漢字（300字程度）・語彙（1,500語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力（日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル）。文字表現でいうと、小学校の2, 3年生で習うくらいの読み書きが難しい漢字と平仮名およびカタカナ（同ホームページより）

また基礎語彙100に即した学習教材もあります。初級学習者も自らの語彙力の

みで災害時に適切な行動をとれる力をつけるように工夫されています。

今年も各地で大雨、洪水の甚大な被害がありました。外国人にも情報を伝えるためのクイックレファレンスが作成されています。

リンク集では、いろいろな団体のホームページをまとめて掲載しています。各団体がやさしい日本語を使ってどのような情報発信しているかを知ることができます。

次にリンク集からいくつかご紹介します。

○財団法人千葉市国際交流協会

常に最新の情報を発信し、防災ガイドブックでは 注意報、警報、避難場所、ゲリラ豪雨、浸水、液状化などについてもやさしい日本語で説明しています。

https://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/kokusai/bousaiguide_portal.html

○埼玉県庁

やさしい日本語と外国語で、外国人被災者と簡単なコミュニケーションをとるための実際の避難所で使える会話セットを多言語でダウンロードすることができます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/kurashi/gaikokujin/saigai/index.html>

○川崎市役所

防災啓発情報紙『そなえる。かわさき』（やさしい日本語版）には日ごろの備え、地震発生時に取るべき行動などがまとめられ、「高層マンションでは、」など都市独特の情報もあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000023635.html>

○カナル・ハママツ

東海地震に備え、地震発生時に取るべき行動や避難の持ち物、避難所一覧、応急処置の方法について、漢字にふりがなをふって丁寧に解説しています。また台風・大雨・洪水・キャンプでの注意・土砂災害への備えなどにも触れています。

<https://mt.adaptive-techs.com/httpadaptor/servlet/HttpAdaptor?.h0.=fp&.ui.=hamajhp&.ro.=kh&.st.=rb&.np.=index.html>

○大和高田市役所

災害対策、地震発生時に取るべき行動、災害時によく使うことばの一覧などを、全て平仮名のやさしい日本語で短くまとめています。

<http://www.city.yamatotakada.nara.jp/life/yasashii/index.html>

○京都府国際センター(KPIC)

『外国人のための防災ガイドブック』には、地震、大雨、台風時取るべき行動や、災害時によく使うことばの一覧などがやさしく詳しくまとめられています。

<https://www.kpic.or.jp/saigai/disasterhandbook.html>

○安城市国際交流協会

「私を避難所に連れて行ってください」などと記載された携帯用防災ガイド『命の手帳』を、やさしい日本語、英語、ポルトガル語でダウンロードすることができます。

<https://www.anjo-kokusai.jp/about/report/entry-57.html>

○世界コミュニティラジオ放送連盟 日本協議会(AMARC)

地震、津波、洪水、地滑りなどの災害が発生したときのラジオ放送用災害時音声素材集をダウンロードできるので聴き取り練習に使えます。

<https://tcc117.jp/amarcjp/>

☆☆☆☆☆☆

◆その他

○大阪市鶴見区

「おおさかにたいふうがきたとき」という情報をイラスト付きで発信していることを、読者の方から教えていただきました。

<https://www.city.osaka.lg.jp/tsurumi/page/0000377751.html>

○『はじめまして にほん』「生活のための日本語」学習教材-ユニット学習編 ユニット 17 災害

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nanmin_nihongokyoiku/kyozai_2/index.html

AJALT が、地域で生活する外国人のために作成した教材もぜひ、ご利用ください。文化庁ホームページよりダウンロードできます。

各地域、団体でのさまざまな取り組みに心から敬意を表します。「こだま」では、今後もみなさまに役立つ情報提供を目指すとともに、みなさまからの情報をお待ちしております。
